

人 チーム 制度



故郷ベトナムを離れ日本のコンサルで働く
若手女性技術者
サンコーコンサルタント(株)
PHAM THI HONG LAM さん
(ファム ティ ホン ラム さん)

今回ご紹介するのは、サンコーコンサルタント(株)で河川に関する仕事に携わるファムさん。故郷ベトナムを離れ日本のコンサルタント会社で働くファムさんの素顔に迫ります。

プロフィール

氏名 : PHAM THI HONG LAM
(ファム ティ ホン ラム)
所属 : 東日支社 技術第二部
 水工課
勤続年数 : 3年目

これまでの経歴について、簡単に教えてください。

ベトナムの Thuy Loi 大学では水資源について勉強していました。大学卒業後は日本に留学し、中央大学大学院理工学研究科に入って水文、水理学及び水質について勉強しました。

修士課程修了後はサンコーコンサルタント株式会社に入社し、河川に関する仕事(築堤、河川構造設計など)を担当しています。



何故、日本のコンサルタント会社で働こうと思ったのですか?

大学の勉強と実際の仕事は違いますので、修士課程修了後は日本のコンサルタント会社で働いてみたいと思っていました。そして、研究室の教授から現在の会社を紹介していただきました。

日本で働いてみて大変なことや驚いたことは、ありますか?

一番大変なことはコミュニケーションです。言いたいことを上手く相手に伝えるのはとても難しいと感じています。土木分野なので、専門知

識を持っている方だけではなく、地元住民の方々にも説明会などを通して理解していただく必要があるからです。

日々上司や先輩方と一緒に仕事をする中で勉強できたことは「相手の立場で考えること」です。協議資料、説明会資料作成の際は、できるだけ専門知識を持っていない方でも理解しやすいよう、表現や見せ方を工夫するよう心掛けています。



現地調査の様子

将来の夢はありますか?

夢はもちろんいっぱいあります。私生活面では、結婚し、自分の家庭を持ちたいと思っています。仕事面では一日も早く技術者として一人前になり、もし可能であれば、将来的には母国ベトナムの仕事にも関わりたいと考えています。

最後に、建コンで働く皆さんに伝えたいことはありますか?

仕事や人生についてまだまだ経験の浅い私ですが、伝えたいことがあるとすれば「人生は一度きり」であるため、悔いの無いように頑張りたいということです。建設コンサルタントという業種は仕事に追われることも多く、自分や家族のための時間を作れないこともあるため、女性にとって大変なこともあるでしょう。お子さんのいらっしゃるご家庭も多いかと思います。

職場や家庭で、たまには素直に疲れたと言ってもいいと思います。そして、自分の気持ち、考えもしっかり伝えたい方いいと思っています。

昨日より今日が、少しでも良くなっていけばいいと思っています。



お母さんと京都旅行!